

【表紙】

| | |
|------------|---|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成21年2月13日 |
| 【四半期会計期間】 | 第1期第3四半期 (自平成20年10月1日至平成20年12月31日) |
| 【会社名】 | 株式会社ココカラファインホールディングス |
| 【英訳名】 | cocokara fine HOLDINGS Inc. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 塚本 厚志 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都大田区山王二丁目1番7号 |
| 【電話番号】 | 042(368)8701 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役経営管理本部長 鈴木 芳孝 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都府中市美好町二丁目12番2号 |
| 【電話番号】 | 042(368)8746 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役経営管理本部長 鈴木 芳孝 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社ココカラファインホールディングス大阪本部 (大阪市中央区南船場二丁目7番30号) |

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

| 回次 | | 第1期 第3四半期連結 累計期間 | 第1期 第3四半期連結 会計期間 |
|--------------------------------|-------|------------------------------|-------------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日 | 自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日 |
| 売上高 | (百万円) | 125,586 | 45,337 |
| 経常利益 | (百万円) | 5,895 | 2,441 |
| 四半期(当期)純利益 | (百万円) | 3,300 | 1,379 |
| 純資産額 | (百万円) | | 42,220 |
| 総資産額 | (百万円) | | 80,108 |
| 1株当たり純資産額 | (円) | | 2,120.04 |
| 1株当たり四半期 (当期)純利益 | (円) | 165.73 | 69.26 |
| 潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 | (円) | | |
| 自己資本比率 | (%) | | 52.7 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | (百万円) | 961 | |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | (百万円) | 2,250 | |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | (百万円) | 705 | |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 | (百万円) | | 10,134 |
| 従業員数 | (名) | | 2,546 |

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。
また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社における状況

平成20年12月31日現在

| | |
|---------|------------------|
| 従業員数(名) | 2,546 (2,804) |
|---------|------------------|

(注) 従業員数は、就業人員であり、従業員数の(外書)は、パートタイマー及びアルバイト(1日8時間換算)であります。

(2) 提出会社の状況

平成20年12月31日現在

| | |
|---------|-----------|
| 従業員数(名) | 16 (2) |
|---------|-----------|

(注) 1 従業員数は、当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人員であります。
2 従業員数は、就業人員であり、従業員数の(外書)は、パートタイマー及びアルバイト(1日8時間換算)であります。

第2 【事業の状況】

1 【仕入及び販売の状況】

当社グループは生産を行っておりませんので、生産実績に代えて商品仕入実績を記載しております。当第3四半期連結会計期間における仕入実績及び販売実績を商品別に示すと次のとおりであります。

(1) 商品仕入実績

| 区分 | 金額(百万円) |
|--------|---------|
| 医薬品 | 9,843 |
| 化粧品 | 8,810 |
| 日常生活用品 | 5,992 |
| その他 | 9,138 |
| 合計 | 33,784 |

(注) 1 上記金額は、仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2 その他の主な内容は、健康食品・衛生材料・医療器具・ベビー用品等であります。

(2) 販売実績

| 区分 | 金額(百万円) |
|--------|---------|
| 医薬品 | 13,390 |
| 化粧品 | 13,241 |
| 日常生活用品 | 7,061 |
| その他 | 7,647 |
| 計 | 41,341 |
| 卸 | 3,996 |
| 合計 | 45,337 |

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

(1) 提出会社

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

(2) 連結子会社

当第3四半期連結会計期間における、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態及び経営成績の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安が急速に広がり、株価下落・企業業績悪化が見られ、景気も後退局面となりました。経済環境の著しい変動の中、小売業におきましても消費低迷が深刻な状況となっております。

当社の属するドラッグストア業界におきましては、オーバーストア現象（商圈下、需要より供給が過剰になるほど店舗数が増加する現象）等による価格競争が激しさを増し、厳しい状況が続いております。また改正薬事法の施行に伴う異業種の本格参入が予想され、M & Aや資本・業務提携等の業界再編が加速される中、生き残りのため企業独自の差異化戦略が必要不可欠になってまいりました。

このような状況下、株式会社セイジョー（以下「セイジョー」という）及びセガミメディクス株式会社（以下「セガミ」という）は平成20年4月1日に経営統合し、株式会社ココカラファインホールディングス（以下「ココカラファインHD」という）を設立いたしました。統合後の活動といたしましては、セイジョー・セガミ両事業会社の仕入部門をココカラファインHDへ一本化した運営を開始し、営業ナレッジ（ノウハウや知識）の共有化・高次元化を進めました。管理部門におきましても、会計システムの統一化を完了したほか、将来に向けての人事関連制度の統一化や次世代に向けた情報システムの高度化に着手するなど、経営管理に係る様々な事項を推進しております。

またセイジョーにおきましては、新たに訪問看護事業へ参画し、調剤事業・介護事業とともに、高齢者をバランスよくサポートできる事業のビジネス化に取り組んでおります。今後地域医療と、当社コア事業であるドラッグストア事業との連携を更に深め、新しい業態を確立するために、平成21年1月、新組織「医療連携推進室」を新設することといたしました。

一方セガミにおきましては、九州エリアにおける店舗ネットワークの拡大・他社との差異化戦略の推進のため、株式会社ドラッグイレブン（以下「イレブン」という）と業務提携を行いました。平成20年11月よりイレブンで取り扱う大半の商品について卸事業を開始し、相互の事業効率化を進めております。

出退店につきましては、消費環境の激変を受けて出店基準の見直しを図り新規14店舗を出店、また4店舗を閉店いたしました結果、当該四半期末の店舗数は以下のとおり642店舗（内調剤取扱113店舗）となりました。

当第3四半期連結会計期間の業績は、個人消費の不振や天候不順の影響を受けましたが、経営統合によるシナジー効果と相俟って、売上高45,337百万円、営業利益1,565百万円、経常利益2,441百万円、四半期純利益1,379百万円となりました。

また、商品分類別売上高につきましては、医薬品売上高13,390百万円、化粧品売上高13,241百万円、日用生活用品売上高7,061百万円、その他（健康食品等を含む）売上高7,647百万円、卸売上高

3,996百万円となりました。

出退店状況 (単位：店)

| | セイジョー | セガミ | 合計 |
|-----------|-------|------|-------|
| 第2四半期末店舗数 | 276 | 356 | 632 |
| (内調剤取扱) | (49) | (62) | (111) |
| 出店 | 3 | 11 | 14 |
| (内調剤取扱) | (1) | (3) | (4) |
| 閉店 | 2 | 2 | 4 |
| (内調剤取扱) | (2) | () | (2) |
| 第3四半期末店舗数 | 277 | 365 | 642 |
| (内調剤取扱) | (48) | (65) | (113) |

(2) 財政状態の分析

(資産、負債及び純資産)

当第3四半期末の総資産は、80,108百万円でしたが、そのうち流動資産は、44,173百万円、固定資産は35,934百万円となりました。これに対する当第3四半期末の負債合計は、37,888百万円でしたが、そのうち流動負債は29,898百万円、固定負債は7,989百万円となりました。

当第3四半期末の純資産は、42,220百万円で、自己資本比率は52.7%となりました。また、1株当たり純資産は2,120円04銭となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は10,134百万円となりました。当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、907百万円の増加となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が2,222百万円に対して、主な増加要因として非資金費用である減価償却費及びその他の償却費の計上が560百万円、仕入債務の増加が4,428百万円あったものの、減少要因として、売上債権の増加が4,005百万円、たな卸資産の増加が776百万円、法人税等の支払額が1,246百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、908百万円の減少となりました。

これは主として新規出店等による有形固定資産の取得による支出570百万円、敷金及び保証金の差入による支出(収入差引後)274百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、890百万円の増加となりました。

これは主として、短期借入金の増加における900百万円の収入があったものの、社債の償還による支出10百万円等があったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

提出会社

提出会社につきましては、該当事項はございません。

連結子会社

| 会社名 | 事業所名 (所在地) | 事業の名称 | 設備の 内容 | 帳簿価額(百万円) | | | | | 従業員数 (名) | 売場面積 (㎡) |
|------------------|------------------------------|----------------|-----------|-------------|-------------------|----------------|-----|-----|-------------|-------------|
| | | | | 建物及び 構築物 | 器具備品 及び運搬 具 | 土地 (面積㎡) | その他 | 合計 | | |
| 株式会社セイ ジョー | 入間町賃貸駐車場 (東京都調布市) | 賃貸物件の隣 接駐車場 | 駐車場 | | | 52 (110.80) | | 52 | [] | |
| 株式会社セイ ジョー | 八王子中野店 (東京都八王子市) | 医薬品等の販 売 | 店舗 | 24 | 7 | () | 15 | 46 | 2 [4] | 422.91 |
| 株式会社セイ ジョー | 千葉中央店 (千葉県千葉市) | 医薬品等の販 売 | 店舗 | 64 | 13 | () | 34 | 112 | 3 [5] | 531.60 |
| 株式会社セイ ジョー | 御嶽山店 (東京都大田区) | 医薬品等の販 売 | 店舗 | 21 | 3 | () | 25 | 50 | 2 [2] | 231.98 |
| 株式会社セイ ジョー | 戸塚深谷店 (神奈川県横浜 市) | 医薬品等の販 売 | 店舗 | 37 | 9 | () | 64 | 111 | 2 [4] | 654.51 |
| 株式会社セイ ジョー | 遠州森町店 (静岡県周智郡森 町) | 医薬品等の販 売 | 店舗 | | | () | 82 | 82 | [] | 826.73 |
| セガミメディクス 株式会社 | 四条河原町店 (京都府京都市) | 医薬品等の販 売 | 店舗 | 17 | 6 | () | 68 | 92 | 4 [6] | 247.18 |
| セガミメディクス 株式会社 | 針木店 (高知県高知市) | 医薬品等の販 売 | 店舗 | 64 | 7 | () | 5 | 77 | 2 [5] | 604.71 |
| セガミメディクス 株式会社 | 佐世保大和店 (長崎県佐世保市) | 医薬品等の販 売 | 店舗 | 22 | 7 | () | 30 | 59 | 3 [4] | 578.20 |
| セガミメディクス 株式会社 | ハートアイランド 店 (東京都足立区) | 医薬品等の販 売 | 店舗 | 18 | 7 | () | 30 | 56 | 3 [4] | 344.70 |
| セガミメディクス 株式会社 | モラージュ葛蒲店 (埼玉県南埼玉郡 葛蒲町) | 医薬品等の販 売 | 店舗 | 19 | 13 | () | 14 | 46 | 3 [5] | 476.10 |
| セガミメディクス 株式会社 | AW名古屋店 (愛知県西春日井 郡豊山町) | 医薬品等の販 売 | 店舗 | 14 | 9 | () | 18 | 41 | 3 [4] | 409.85 |
| セガミメディクス 株式会社 | 新都心店 (沖縄県那覇市) | 医薬品等の販 売 | 店舗 | 9 | 10 | () | 11 | 30 | 2 [3] | 293.44 |

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2 「その他」は、建設仮勘定、無形固定資産及び差入保証金、敷金、長期前払費用であります。

3 従業員数の[]内は、パートタイマー及びアルバイト(8時間換算)の年間平均人数であり、外数表示してあります。

4 株式会社セイジョーの入間町賃貸駐車場は、賃貸テナント物件に隣接する駐車場の取得であります。また、株式会社セイジョーの遠州森町店は、開店を3月に予定しており、従業員は、まだ、発生しておりません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、連結子会社各社の第2四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 79,687,000 |
| 計 | 79,687,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成20年12月31日) | 提出日現在 発行数(株) (平成21年2月13日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|---|---------------------------------|------------------------------------|------------------|
| 普通株式 | 19,922,156 | 19,922,156 | 東京証券取引所 (市場第一部) | 単元株式数は100株であります。 |
| 計 | 19,922,156 | 19,922,156 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金 増減額 (百万円) | 資本準備金 残高 (百万円) |
|-------------|-----------------------|----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 平成20年12月31日 | | 19,922,156 | | 1,000 | | 250 |

(5) 【大株主の状況】

当第3四半期末において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、実質株主が把握できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成20年9月30日現在で記載しております。

【発行済株式】

平成20年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|------------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 6,900 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式19,830,700 | 198,302 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 84,556 | | |
| 発行済株式総数 | 19,922,156 | | |
| 総株主の議決権 | | 198,302 | |

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式500株が含まれております。なお、「議決権の数」の欄には、同機構名義の議決権の数5個が含まれておりません。
2 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式50株が含まれております。

【自己株式等】

平成20年9月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-------------------------|--------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (株)ココカラファイン ホールディングス | 東京都大田区山王二丁目 1 7 | 6,900 | | 6,900 | 0.0 |
| 計 | | 6,900 | | 6,900 | 0.0 |

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

| 月別 | 平成20年 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 最高(円) | 2,420 | 2,305 | 2,520 | 2,355 | 1,981 | 1,700 | 1,397 | 1,194 | 1,427 |
| 最低(円) | 1,500 | 1,760 | 2,030 | 1,850 | 1,568 | 1,274 | 866 | 936 | 1,005 |

(注) 株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員 の 状 況】

平成20年4月1日に設立された株式会社ココカラファイン ホールディングスの役員 の 状 況 は、次 の と お り で あ り ま す。

(1) 新任役員

| 役名 | 職名 | 氏名 | 生年月日 | 略歴 | 任期 | 所有株式数 (千株) |
|-------------|------------------------|-------|-----------------|--|----|---------------|
| 代表取締役 会長 | | 瀬上 修 | 昭和17年3月31日 生 | 昭和45年6月 昭和54年11月 昭和58年3月 平成3年1月 平成5年11月 平成20年4月 セガミメディクス株式会社入社 セガミメディクス株式会社取締役管理 部長 セガミメディクス株式会社常務取締役 セガミメディクス株式会社取締役副社 長 セガミメディクス株式会社代表取締役 社長(現任) 当社代表取締役会長(現任) | 1年 | 308 |
| 代表取締役 社長 | | 塚本 厚志 | 昭和37年11月4日 生 | 昭和60年4月 平成8年12月 平成11年7月 平成13年12月 平成14年12月 平成18年5月 平成20年4月 株式会社セイジョー入社 株式会社セイジョー取締役支店部長 株式会社セイジョー取締役営業部長 株式会社セイジョー常務取締役営業本 部長 株式会社セイジョー代表取締役社長 株式会社セイジョー代表取締役社長 株式会社WINDラッグ代表取締役社 長兼務(現任) 当社代表取締役社長(現任) | 1年 | 29 |
| 取締役 | 経営管理 副本部長 | 上田 清 | 昭和22年5月17日 生 | 昭和41年3月 平成8年11月 平成11年6月 平成16年6月 平成19年4月 平成20年4月 平成20年9月 セガミメディクス株式会社入社 セガミメディクス株式会社取締役管理 部長 セガミメディクス株式会社取締役管理 本部長 セガミメディクス株式会社常務取締役 管理本部長 セガミメディクス株式会社常務取締役 管理部長 当社取締役経営管理副本部長(現任) セガミメディクス株式会社常務取締役 管理本部長 セガミメディクス株式会社専務取締役 管理本部長(現任) | 1年 | 32 |
| 取締役 | 開発本部長 | 齊藤 正人 | 昭和32年1月18日 生 | 昭和54年4月 昭和55年11月 昭和57年11月 平成9年12月 平成19年10月 平成20年4月 株式会社セイジョー入社 株式会社セイジョー監査役 株式会社セイジョー専務取締役 株式会社セイジョー取締役副社長 株式会社セイジョー取締役副社長企画 開発本部長(現任) 当社取締役開発本部長(現任) | 1年 | 1,759 |
| 取締役 | 業態開発室長 兼MD推進 本部長 | 濱野 和夫 | 昭和25年9月12日 生 | 昭和49年4月 平成2年2月 平成11年6月 平成13年6月 平成14年4月 平成16年6月 平成19年4月 平成20年4月 平成20年9月 セガミメディクス株式会社入社 セガミメディクス株式会社九州支社長 セガミメディクス株式会社取締役営業 本部長補佐 セガミメディクス株式会社取締役営業 副本部長 セガミメディクス株式会社取締役営業 本部長 セガミメディクス株式会社常務取締役 営業本部長 セガミメディクス株式会社常務取締役 事業開発室長 当社取締役業態開発室長兼MD推進本部 長(現任) セガミメディクス株式会社常務取締役 セガミメディクス株式会社専務取締役 (現任) | 1年 | 22 |

| | | | | | | | |
|-----|-------|------|----------------|---|---|----|----|
| 取締役 | 商品本部長 | 橋爪 薫 | 昭和37年1月4日 生 | 昭和60年4月 平成12年4月 平成12年12月 平成13年12月 平成14年12月 平成16年6月 平成18年9月 平成19年10月 平成20年4月 | 株式会社セイジョー入社 株式会社セイジョー営業部長 株式会社セイジョー取締役営業部支店 部長 株式会社セイジョー取締役営業部長 株式会社セイジョー専務取締役営業本 部長 株式会社セイジョー専務取締役商品本 部長 株式会社セイジョー専務取締役営業本 部長 株式会社セイジョー専務取締役営業統 括本部長（現任） 当社取締役商品本部長（現任） | 1年 | 16 |
|-----|-------|------|----------------|---|---|----|----|

| 役名 | 職名 | 氏名 | 生年月日 | 略歴 | 任期 | 所有株式数 (千株) |
|-----------|-------------|-------|-------------|--|----|---------------|
| 取締役 | 経営企画室長 | 重田 陽平 | 昭和28年3月14日生 | 昭和50年4月 株式会社三和銀行(現 株式会社三菱東京UFJ銀行)入行 平成16年2月 セガミメディクス株式会社入社 平成16年4月 セガミメディクス株式会社経営企画室長 平成16年6月 セガミメディクス株式会社取締役経営企画室長 平成20年4月 当社取締役経営企画室長(現任) 平成20年9月 セガミメディクス株式会社常務取締役経営企画室長(現任) | 1年 | 0 |
| 取締役 | 経営管理 本部長 | 鈴木 芳孝 | 昭和25年2月12日生 | 昭和47年4月 株式会社三菱銀行(現 株式会社三菱東京UFJ銀行)入行 平成13年2月 株式会社セイジョー出向 経理部長 平成13年12月 株式会社セイジョー入社 経理部長 平成13年12月 株式会社セイジョー常務取締役財務・経理・法務担当 平成15年12月 株式会社セイジョー専務取締役管理本部長 平成19年10月 株式会社セイジョー専務取締役経営企画管理本部長 平成20年4月 当社取締役経営管理本部長(現任) 平成20年5月 株式会社セイジョー専務取締役経営企画管理室室長(現任) | 1年 | 13 |
| 常勤監査 役 | | 竹本 雅俊 | 昭和17年3月6日生 | 昭和40年4月 株式会社資生堂入社 平成2年6月 株式会社資生堂情報システム部長 平成7年6月 株式会社資生堂監査役 平成14年6月 セガミメディクス株式会社監査役(現任) 平成20年4月 当社常勤監査役(現任) | 4年 | 1 |
| 監査役 | | 小菅 泉 | 昭和15年5月11日生 | 昭和38年4月 株式会社三菱銀行(現 株式会社三菱東京UFJ銀行)入行 昭和63年10月 株式会社三菱銀行(現 株式会社三菱東京UFJ銀行)静岡支店長 平成9年6月 菱友計算株式会社常務取締役 平成15年12月 株式会社セイジョー監査役(現任) 平成20年4月 当社監査役(現任) | 4年 | |
| 監査役 | | 関口 要蔵 | 昭和15年7月28日生 | 昭和40年4月 コクヨ株式会社入社 平成9年6月 コクヨ株式会社取締役店舗事業部長 平成11年6月 コクヨ株式会社執行役員 平成12年6月 コクヨ株式会社上席執行役員 平成12年10月 株式会社カウネット代表取締役 平成13年6月 コクヨ株式会社顧問 平成16年6月 株式会社カウネット代表取締役退任 平成20年4月 コクヨ株式会社監査役(現任) 当社監査役(現任) | 4年 | |

- (注) 1 監査役竹本雅俊・小菅泉及び関口要蔵は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
- 2 取締役の任期は、平成20年4月1日である当社の設立日より、平成21年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。
- 3 監査役の任期は、平成20年4月1日である当社の設立日より、平成24年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。
- 4 当社は、法令に定める監査役の数に欠けることになる場合に備え、会社法第329条第2項に定める監査役補欠者1名を選出しております。
- 監査役補欠者の略歴は以下のとおりであります。

| 氏名 | 生年月日 | 略歴 | 任期 | 所有株式数 (千株) |
|----|------|----|----|---------------|
| | | | | |

| | | | | | |
|-------|-------------|---|---|----|--|
| 和田 伸之 | 昭和17年1月16日生 | 昭和35年4月 平成1年6月 平成5年4月 平成7年8月 平成17年1月 平成17年12月 平成20年4月 | 霞ヶ関信用組合 入社 霞ヶ関信用組合 業務部長 株式会社三菱銀行（現 株式会社 三菱東京UFJ銀行）支店第一部 部長代理 萬興業株式会社（現 株式会社丸 の内よるず）入社 萬興業株式会社（現 株式会社丸 の内よるず）定年退職 株式会社セイジョー補欠監査役 （現任） 当社補欠監査役（現任） | 1年 | |
|-------|-------------|---|---|----|--|

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成20年12月31日)

| 資産の部 | |
|-------------|---------|
| 流動資産 | |
| 現金及び預金 | 10,158 |
| 売掛金 | 7,090 |
| 商品 | 21,570 |
| その他 | 5,363 |
| 貸倒引当金 | 7 |
| 流動資産合計 | 44,173 |
| 固定資産 | |
| 有形固定資産 | |
| 建物及び構築物(純額) | 1 7,758 |
| 土地 | 8,955 |
| その他(純額) | 1 1,524 |
| 有形固定資産合計 | 18,239 |
| 無形固定資産 | |
| のれん | 405 |
| その他 | 1,219 |
| 無形固定資産合計 | 1,625 |
| 投資その他の資産 | |
| 敷金及び保証金 | 13,715 |
| その他 | 2,550 |
| 貸倒引当金 | 195 |
| 投資その他の資産合計 | 16,070 |
| 固定資産合計 | 35,934 |
| 資産合計 | 80,108 |

(単位:百万円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成20年12月31日)

| 負債の部 | |
|--------------|--------|
| 流動負債 | |
| 支払手形及び買掛金 | 20,860 |
| 短期借入金 | 2,600 |
| 1年内償還予定の社債 | 120 |
| 未払法人税等 | 875 |
| 賞与引当金 | 326 |
| ポイント引当金 | 774 |
| その他 | 4,342 |
| 流動負債合計 | 29,898 |
| 固定負債 | |
| 退職給付引当金 | 2,306 |
| 負ののれん | 4,959 |
| その他 | 722 |
| 固定負債合計 | 7,989 |
| 負債合計 | 37,888 |
| 純資産の部 | |
| 株主資本 | |
| 資本金 | 1,000 |
| 資本剰余金 | 24,980 |
| 利益剰余金 | 16,174 |
| 自己株式 | 13 |
| 株主資本合計 | 42,141 |
| 評価・換算差額等 | |
| その他有価証券評価差額金 | 78 |
| 評価・換算差額等合計 | 78 |
| 純資産合計 | 42,220 |
| 負債純資産合計 | 80,108 |

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) |
|---------------|--|
| 売上高 | 125,586 |
| 売上原価 | 90,463 |
| 売上総利益 | 35,123 |
| 販売費及び一般管理費 | 31,757 |
| 営業利益 | 3,365 |
| 営業外収益 | |
| 負ののれん償却額 | 875 |
| その他 | 1,784 |
| 営業外収益合計 | 2,659 |
| 営業外費用 | |
| 上場関連費用 | 25 |
| その他 | 102 |
| 営業外費用合計 | 128 |
| 経常利益 | 5,895 |
| 特別利益 | |
| 貸倒引当金戻入額 | 0 |
| ゴルフ会員権売却益 | 0 |
| 特別利益合計 | 1 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 84 |
| 店舗閉鎖損失 | 50 |
| 賃貸借契約解約損 | 74 |
| 減損損失 | 327 |
| 過年度ポイント引当金繰入額 | 63 |
| その他 | 10 |
| 特別損失合計 | 611 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,285 |
| 法人税等 | 1,984 |
| 四半期純利益 | 3,300 |

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 45,337 |
| 売上原価 | 33,007 |
| 売上総利益 | 12,329 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,764 |
| 営業利益 | 1,565 |
| 営業外収益 | |
| 負ののれん償却額 | 291 |
| その他 | 624 |
| 営業外収益合計 | 916 |
| 営業外費用 | |
| その他 | 40 |
| 営業外費用合計 | 40 |
| 経常利益 | 2,441 |
| 特別利益 | |
| 貸倒引当金戻入額 | 0 |
| 特別利益合計 | 0 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 35 |
| 店舗閉鎖損失 | 12 |
| 賃貸借契約解約損 | 1 |
| 減損損失 | 169 |
| その他 | 0 |
| 特別損失合計 | 219 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,222 |
| 法人税等 | 843 |
| 四半期純利益 | 1,379 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年12月31日)

| | |
|-------------------------|--------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,285 |
| 減価償却費及びその他の償却費 | 1,522 |
| 減損損失 | 327 |
| のれん及び負ののれん償却額 | 812 |
| 引当金の増減額(は減少) | 335 |
| 受取利息及び受取配当金 | 48 |
| 支払利息 | 18 |
| 固定資産受贈益 | 186 |
| 固定資産除却損 | 84 |
| 店舗閉鎖損失及び賃貸借契約解約損 | 125 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 3,881 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 1,894 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 3,400 |
| その他 | 86 |
| 小計 | 3,693 |
| 利息及び配当金の受取額 | 23 |
| 利息の支払額 | 16 |
| 法人税等の支払額 | 2,738 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 961 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 定期預金の預入による支出 | 23 |
| 定期預金の払戻による収入 | 523 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 1,627 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | 1,099 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 349 |
| その他 | 373 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 2,250 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 1,400 |
| 社債の償還による支出 | 20 |
| 配当金の支払額 | 674 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 705 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 583 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,097 |
| 株式移転による現金及び現金同等物の増加額 | 7,620 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 10,134 |

【継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当社は平成20年4月1日に(株)セイジョーとセガミメディクス(株)が経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。四半期連結財務諸表は、第1四半期連結会計期間から作成しておりますので、「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等」を記載しております。

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等

| 当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) |
|---|
| <p>1 連結の範囲に関する事項</p> <p>(1) 連結子会社の数 3社 連結子会社の名称 (株)セイジョー セガミメディクス(株) 國廣薬品(株)</p> <p>(2) 非連結子会社の名称等 非連結子会社 (株)セガミコーポレーション関西 (株)セガミコーポレーション九州 (連結の範囲から除いた理由) 非連結子会社は、いずれも小規模であり、合計の総資産、売上高、第3四半期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等は、いずれも第3四半期連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないためであります。</p> |
| <p>2 持分法の適用に関する事項 持分法を適用した非連結子会社及び関連会社はないため、該当事項はありません。</p> |
| <p>3 連結子会社の四半期連結決算日に関する事項 連結子会社の四半期決算日は、四半期連結決算日と一致しております。</p> |
| <p>4 会計処理基準に関する事項</p> <p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法</p> <p>有価証券 満期保有目的の債券 償却原価法(定額法)</p> <p>その他有価証券 a 時価のあるもの 四半期連結決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)</p> <p>b 時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>たな卸資産 商品 総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法) ただし、(株)セイジョーの商品(調剤薬品は除く)については、売価還元法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)</p> |

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法を採用しています。

なお、耐用年数及び残存価額については法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

無形固定資産

定額法を採用しています。

ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しています。

投資その他の資産(その他 長期前払費用)

定額法を採用しています。

(3) 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

ポイント引当金

ポイントカードの利用による売上値引きに備えるため、使用実績率に基づき将来利用されると見込まれる額を見積もり計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当第3四半期連結会計期間末において発生していると認められる額を計上しています。

なお、数理計算上の差異については、(株)セイジョーは、各期の発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(3年)による定額法により按分した額を、セガミメディクス(株)は、各期の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定率法により按分した額をそれぞれ発生年度から費用処理しております。

また、過去勤務債務については、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による定額法により処理しております。

(4) 重要なリース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(5) その他四半期連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理について

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

のれん及び負ののれんの償却に関する事項

のれんについては、のれんの影響が及ぶ期間を考慮し、5年間または10年間の均等償却を行っております。また負ののれんについては、同様に5年間の均等償却を行っております。

| |
|---|
| 当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) |
| 5 四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲 四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。 |

【簡便な会計処理】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

| |
|---|
| 当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) |
| 1 税金費用の計算 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。 ただし、見積実効税率を使用できない場合には、税引前四半期純利益に法定実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

| | |
|---|-----------|
| 当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日) | |
| 1 有形固定資産の減価償却累計額 | 11,852百万円 |
| 2 期末日満期手形の会計処理については満期日に決済が行われたものとして処理しております。なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。 | |
| 支払手形 | 37百万円 |

(四半期連結損益計算書関係)

| 当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) | |
|--|-----------|
| 1 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。 | |
| 給与手当 | 11,273百万円 |
| 賞与引当金繰入額 | 1,416百万円 |
| 退職給付費用 | 189百万円 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 2百万円 |
| 賃借料 | 7,946百万円 |

| 当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日) | |
|---|----------|
| 1 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。 | |
| 給与手当 | 3,802百万円 |
| 賞与引当金繰入額 | 466百万円 |
| 退職給付費用 | 64百万円 |
| 賃借料 | 2,706百万円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) | |
|--|------------------|
| 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 | |
| 現金及び預金 | 10,158百万円 |
| 預入期間が3ヶ月超の定期預金 | 23百万円 |
| 現金及び現金同等物 | <u>10,134百万円</u> |

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

1 発行済株式に関する事項

| 株式の種類 | 当第3四半期 連結会計期間末 |
|---------|-------------------|
| 普通株式(株) | 19,922,156 |

2 自己株式に関する事項

| 株式の種類 | 当第3四半期 連結会計期間末 |
|---------|-------------------|
| 普通株式(株) | 7,384 |

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------------------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成20年6月27日 定時株主総会 | ㈱セイジョー 普通株式 | 268 | 25 | 平成20年3月31日 | 平成20年6月30日 | 利益剰余金 |
| 平成20年6月27日 定時株主総会 | セガミメディクス㈱ 普通株式 | 404 | 50 | 平成20年3月31日 | 平成20年6月28日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

| | 資本金 (百万円) | 資本剰余金 (百万円) | 利益剰余金 (百万円) | 自己株式 (百万円) | 株主資本合計 (百万円) |
|-----------------------|--------------|----------------|----------------|---------------|-----------------|
| 前期末残高 | 3,958 | 4,315 | 13,547 | 0 | 21,820 |
| 当第3四半期連結会計期間末までの変動額 | | | | | |
| 株式移転による変動額 | 2,958 | 20,665 | | | 17,707 |
| 剰余金の配当 | | | 673 | | 673 |
| 四半期純利益 | | | 3,300 | | 3,300 |
| 自己株式の取得 | | | | 12 | 12 |
| 当第3四半期連結会計期間末までの変動額合計 | 2,958 | 20,665 | 2,627 | 12 | 20,321 |
| 当第3四半期連結会計期間末残高 | 1,000 | 24,980 | 16,174 | 13 | 42,141 |

(注) 株式会社ココカラファイン ホールディングスは、平成20年4月1日付で株式会社セイジョーとセガミメディクス株式会社の共同持株会社として設立しております。

なお、当第3四半期連結財務諸表は、完全子会社となった株式会社セイジョーの財務諸表を引き継ぎ、期首に設立したものとみなして作成しております。

(リース取引関係)

| 当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日至平成20年12月31日) 及び 当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日至平成20年12月31日) | | | | |
|---|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|-------------|
| リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び四半期末残高相当額 | | | | |
| | 有形固定資産 (器具・備品) (百万円) | 有形固定資産 (車両運搬具) (百万円) | 無形固定資産 (ソフトウェア) (百万円) | 合計 (百万円) |
| 取得価額相当額 | 1,715 | 18 | 177 | 1,911 |
| 減価償却累計額相当額 | 895 | 10 | 77 | 983 |
| 減損損失累計額相当額 | | | | |
| 四半期末残高相当額 | 819 | 8 | 100 | 928 |
| 未経過リース料四半期末残高相当額及びリース資産減損勘定四半期末残高 未経過リース料四半期末残高相当額 | | | | |
| | 1年以内 | 363百万円 | | |
| | 1年超 | 604百万円 | | |
| | 合計 | 967百万円 | | |
| 支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額、支払利息相当額及び減損損失 (四半期連結累計期間) | | | | |
| | 支払リース料 | 395百万円 | | |
| | 減価償却費 相当額 | 360百万円 | | |
| | 支払利息相当額 | 20百万円 | | |
| (四半期連結会計期間) | | | | |
| | 支払リース料 | 102百万円 | | |
| | 減価償却費 相当額 | 90百万円 | | |
| | 支払利息相当額 | 6百万円 | | |
| 減価償却費相当額及び利息相当額の算定方法 | | | | |
| ・減価償却費相当額の算定方法 | | | | |
| リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。 | | | | |
| ・利息相当額の算定方法 | | | | |
| リース料総額とリース物件の取得価額相当額の差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法 によっております。 | | | | |
| (減損損失について) | | | | |
| リース資産に配分された減損損失はありません。 | | | | |

(有価証券関係)

有価証券につきましては、企業集団の事業の運営において重要なものではないため記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当社グループは、デリバティブ取引を利用していないため、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません

(企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占めるドラッグストア・調剤事業の割合が、いずれも90%をこえるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

海外売上高がないため、海外売上高の記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

| |
|--------------------------------|
| 当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日) |
| 2,120円04銭 |

2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
第3四半期連結累計期間

| | |
|--|---------|
| 当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | |
| 1株当たり四半期純利益 | 165円73銭 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 | 円 銭 |

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

| 項目 | 当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) |
|-------------------------|--|
| 四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円) | 3,300 |
| 普通株式に係る四半期純利益(百万円) | 3,300 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 19,916,206 |

第3四半期連結会計期間

| | |
|---|--------|
| 当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日) | |
| 1株当たり四半期純利益 | 69円26銭 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 | 円 銭 |

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

| 項目 | 当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日) |
|-------------------------|---|
| 四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円) | 1,379 |
| 普通株式に係る四半期純利益(百万円) | 1,379 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 19,914,931 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月13日

株式会社ココカラファイン ホールディングス
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中村 雅一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 嘉章 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小市 裕之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ココカラファイン ホールディングスの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ココカラファイン ホールディングス及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

